

武庫川流域委員会現地視察資料

平成16年 6 月 1 日

1. 武庫川源流を訪ねて

(1) 概況

武庫川は、真南条川を上ったあたりから、龍藏寺に向けて上がって行くが、真南条あたりから用水路に代わり龍藏寺下の溜め池（田口池）まで続く。

源流は龍藏寺がある愛宕山（標高644m）であり、周辺は源流部にふさわしく自然に恵まれた景勝地でもあり、近畿自然歩道として指定されており、標識の整備も進んでおり自然探索を訪れる人も多い。

龍藏寺の山門をくぐると武庫川源流の看板もみられる。また、上流部には、災害復旧で施行した砂防堰堤と300～400に及ぶ護岸が延々と施行されている。額石には、平成3年と兵庫県施行「竜藏寺堰堤」 $H = 5.0\text{m}$ 、 $L = 26.0\text{m}$ 、 $V = 344.4\text{m}$ と記されていた。

(2) 森林の状況

田口池あたりから上流森林は、ほぼ国（林野庁所管 太平山国有林）と龍藏寺が所有している。

太平山国有林は愛宕山周辺の尾根筋を中心に約53ha所有しており、スギ・ヒノキを中心に手入れが良くされている森林が多い。

一方、竜藏寺所有の山林は約50haである。樹種別面積は、スギ30ha、ヒノキ5ha、アカマツ4ha広葉樹11haであり、樹齢90年を超える人工林も多く歳月を感じさせる巨木（モミ、ツガ、ケヤキ、スギ、ヒノキ）等も多くみられる。また植生も多様でサカキ、ヒサカキ、ヤブツバキ、シキミ、ユズリハ、ウラジロガシ、アオキが中心であるが、紙の原料に使用していた、ミツマタなどもみられた。（※ヒカゲツツジの群落もあるそうです）

しかしながら、人工林の多くは、間伐等の手入れが行われてないため、下層の植生は極めて貧弱であり、表層の土壌が流出しているところも多くみられる。

(3) 近年の災害

平成8年8月28日だった集中豪雨は300%（日雨量）を超える豪雨で、被害は、家屋倒壊、農地灌水、山地崩壊など甚大な被害であった。

中でも山地崩壊の多くの箇所は、松くい虫被害などにより枯損木の目立つ林分や放置林分に多くみられた。

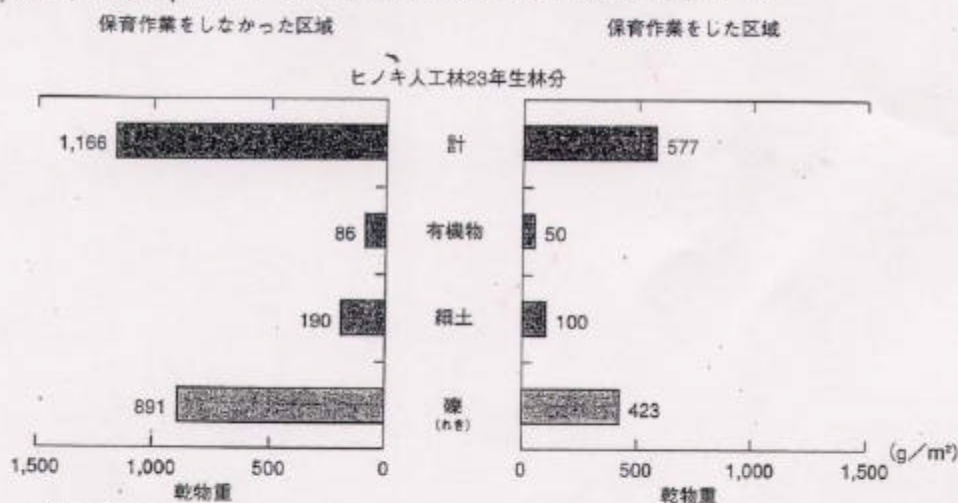
なお、武庫川流域（篠山市）における森林部分の復旧額は、約8億円を費している。

その後、この経験を活かして、天神川上流では1億円を投入して森林の整備を行っている。

2 森林整備（間伐）の必要性

間伐は良質な木材を育てると同時に、林内に適度の光を入れ、下草の発生を促すことにより、表土の流出を防止するなど河川の保全を図るとともに、治水の面でも極めて重要な作業である。

平成14年度森林・林業白書 図Ⅱ-3 間伐等の作業と表層土壌の流出量の一例



資料：兵庫県立林業試験場研究報告第30号：古池 1986

注：1) 試験地は兵庫県宍粟郡山崎町の山林（保育作業をした区域の傾斜度：30.5～38.5度、保育作業をしなかった区域の傾斜度：33.5～39.5度）

2) データは1年当たりの表層土壌の流出量の測定値であり、年降雨量1,100mm～1,500mm、時間最大雨量10～40mmの強度で年間降雨回数が15～25回の降雨範囲におけるもので、集中豪雨等の異常な豪雨がなかった3年間の平均値である。

3) 保育作業は枝打ち、間伐である。

森林等の土壌中に水の貯留・保水されることにより洪水防止あるいは、濁水防止が有効に機能していると考えられているが、「測定法」などは、確定していないようである。

(3) 武庫川の保全

武庫川の治水を考えると、河川工事による応急措置だけでは不十分と考えている。河川工事と森林の整備は、治水上、車の両輪のごとく行われて初めて流域全体の治水が図られるものと私考される。

特に流域内には多くの森林があり、健全な森林を育成することは治水上極めて貢献度も高いと思われる。

しかし、最近では、木材価格の低迷や農山村の人手不足など放置森林が多く、治水上も優慮されていることも事実である。「このため」流域内の工事には土木事業の原点を見直し、「土」と「木」の活用、すなわち流域内から生産される「間伐材」の使用を心がけることにより、農山村に活力が生まれ自然と森林の整備が図られるものと確信する。

武庫川流域森林資源構成表

内訳 市	民 有 林						計 (E) ha	人工林率 D/E × 100 %	国 有 林 (F) ha	合 計 (E+F) ha
	人工林 (スギ・ヒノキ) (A) ha	天然林 (アカマツ・広葉樹) (B) ha	竹 (C) ha	そ の 他 (D) ha	計 (E) ha	人工林率 D/E × 100 %				
篠山市 (武庫川流域)	574	1,955	4	14	2,547	27.5	53	2,600		
篠山市 (武庫川流域を除く)	7,290	17,462	95	283	25,130	29.0	453	25,583		
計	7,864	19,417	99	297	27,677	28.4	506	28,183		
西宮市	235	3,063	19	162	3,479	6.8	248	3,727		
宝塚市	251	5,052	9	278	5,590	4.5	320	5,910		
三田市	1,466	11,547	54	137	13,204	11.1	408	13,612		
武庫川流域計	2,526	21,617	86	591	24,820	10.2	1,029	25,849		
県 計	220,523	296,518	3,178	11,319	531,538	41.5	30,916	562,454		

(注)1. 武庫川流域面積は、県計の内数である。

2. 篠山市の武庫川には「後川」地区が含まれるが、本表には、本流のみの数値である。

※後川地区1,700ha

3. 数値は、兵庫県農林水産部発行の平成14年度兵庫県森林業統計書による。

河口地方武庫川の清流（紫雲山）上望む





龍藏寺竹色



毛三の巨木

目通り周囲 4.5m (楕圓)
樹 高 35m ()



兵庫森林
防風壁
築造工



兵庫森林
管理築造工

谷止工



手入水の行きとどい森林



手入水の行きとどい森林



H 8. 8. 28

孫山市油子



H 8. 8. 28

孫山市油子園也



ニ 目指す豊か森林ニ

○ 下層植生豊富

○ 竹笹林 (雑木林) の形成

○ 舟入林 (舟入林) の形成

豊か森林 (三台木) の形成

武庫川流域 龍蔵寺所有山林